

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 4 月 14 日(2022.4.14)

【公開番号】特開 2021-29814(P2021-29814A)  
【公開日】令和 3 年 3 月 1 日(2021.3.1)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-011  
【出願番号】特願 2019-155342(P2019-155342)  
【国際特許分類】  
A 63 F 7/02(2006.01)  
【FI】  
A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 4 年 4 月 6 日(2022.4.6)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

遊技者による操作対象とされる第 1 操作部及び第 2 操作部と、  
判定を行う判定手段と、  
前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与し  
うる特典付与手段と、

30

前記第 1 操作部に対する操作受付と前記第 2 操作部に対する操作受付とがいずれも許容  
されている状態にある複数操作許容状態を発生可能であり、該複数操作許容状態で前記第  
1 操作部に対する操作受付及び前記第 2 操作部に対する操作受付のいずれかがなされると  
、該操作受付のなされた側の種別に応じた受付後変化を実行可能な複数操作許容状態実行  
手段と、

遊技者による操作対象を摸した表示を表示可能な摸画像表示手段と  
を備え、

操作受付が許容されているにもかかわらずその操作対象を摸した表示が前記摸画像表示  
手段によって行われない場合がある遊技機であって、

前記複数操作許容状態の種別として、第 1 の複数操作許容状態及び第 2 の複数操作許容  
状態が少なくとも用意されており、

前記第 1 の複数操作許容状態では、前記第 1 操作部を摸した表示及び前記第 2 操作部を  
摸した表示がいずれも表示されているなかで前記第 1 操作部に対する操作受付と前記第 2  
操作部に対する操作受付とがいずれも許容されている状態にあり、且つ前記第 1 操作部及  
び前記第 2 操作部のうち少なくとも前記第 1 操作部は複数回の操作受付が許容されている  
状態にあるようになっており、

40

前記第 2 の複数操作許容状態では、前記第 1 操作部を摸した表示及び前記第 2 操作部を  
摸した表示がいずれも表示されていないなかで前記第 1 操作部に対する操作受付と前記第  
2 操作部に対する操作受付とがいずれも許容されている状態にあり、且つ前記第 1 操作部  
及び前記第 2 操作部のうち少なくとも前記第 1 操作部は複数回の操作受付が許容されてい  
る状態にあるようになっており、

前記第 1 の複数操作許容状態において複数回の操作受付が許容されている状態にある前  
記第 1 操作部に対して操作受付がなされると、該操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つ  
としての受付後表示が表示されるが、該受付後表示が表示されている間も前記第 1 操作部

50

に対する操作受付及び前記第 2 操作部に対する操作受付はいずれも許容されている状態にあり、当該状態において前記第 2 操作部に対する操作受付がなされると、該操作受付を契機として、該第 2 操作部に対する操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つとしての受付後表示が表示されるだけでなく、それまで現れていた前記第 1 操作部に対する操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つとしての受付後表示が非表示にされるようになっており、

前記第 2 の複数操作許容状態において複数回の操作受付が許容されている状態にある前記第 1 操作部に対して操作受付がなされると、該操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つとしての受付後表示が表示されるが、該受付後表示が表示されている間も前記第 1 操作部に対する操作受付及び前記第 2 操作部に対する操作受付はいずれも許容されている状態にあり、当該状態において前記第 2 操作部に対する操作受付がなされると、それまで現れていた前記第 1 操作部に対する操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つとしての受付後表示が継続して表示されており且つ前記第 1 操作部に対する操作受付も継続して許容されているなかで、前記第 2 操作部に対する操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つとしての受付後表示が表示されるようになっており、

10

さらに、

前記第 1 の複数操作許容状態は、当該第 1 の複数操作許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動の変動パターンの種別に応じて、特定 B G M が非可聴の状態にされているなかで発生する場合と、該特定 B G M が可聴出力されているなかで発生する場合との両方がある

ことを特徴とする遊技機。

20

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

手段 1：遊技者による操作対象とされる第 1 操作部及び第 2 操作部と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

30

前記第 1 操作部に対する操作受付と前記第 2 操作部に対する操作受付とがいずれも許容されている状態にある複数操作許容状態を発生可能であり、該複数操作許容状態で前記第 1 操作部に対する操作受付及び前記第 2 操作部に対する操作受付のいずれかがなされると、該操作受付のなされた側の種別に応じた受付後変化を実行可能な複数操作許容状態実行手段と、

遊技者による操作対象を摸した表示を表示可能な摸画像表示手段と

を備え、

操作受付が許容されているにもかかわらずその操作対象を摸した表示が前記摸画像表示手段によって行われない場合がある遊技機であって、

前記複数操作許容状態の種別として、第 1 の複数操作許容状態及び第 2 の複数操作許容状態が少なくとも用意されており、

40

前記第 1 の複数操作許容状態では、前記第 1 操作部を摸した表示及び前記第 2 操作部を摸した表示がいずれも表示されているなかで前記第 1 操作部に対する操作受付と前記第 2 操作部に対する操作受付とがいずれも許容されている状態にあり、且つ前記第 1 操作部及び前記第 2 操作部のうち少なくとも前記第 1 操作部は複数回の操作受付が許容されている状態にあるようになっており、

前記第 2 の複数操作許容状態では、前記第 1 操作部を摸した表示及び前記第 2 操作部を摸した表示がいずれも表示されていないなかで前記第 1 操作部に対する操作受付と前記第 2 操作部に対する操作受付とがいずれも許容されている状態にあり、且つ前記第 1 操作部及び前記第 2 操作部のうち少なくとも前記第 1 操作部は複数回の操作受付が許容されてい

50

る状態にあるようになっており、

前記第 1 の複数操作許容状態において複数回の操作受付が許容されている状態にある前記第 1 操作部に対して操作受付がなされると、該操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つとしての受付後表示が表示されるが、該受付後表示が表示されている間も前記第 1 操作部に対する操作受付及び前記第 2 操作部に対する操作受付はいずれも許容されている状態にあり、当該状態において前記第 2 操作部に対する操作受付がなされると、該操作受付を契機として、該第 2 操作部に対する操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つとしての受付後表示が表示されるだけでなく、それまで現れていた前記第 1 操作部に対する操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つとしての受付後表示が非表示にされるようになっており、

10

前記第 2 の複数操作許容状態において複数回の操作受付が許容されている状態にある前記第 1 操作部に対して操作受付がなされると、該操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つとしての受付後表示が表示されるが、該受付後表示が表示されている間も前記第 1 操作部に対する操作受付及び前記第 2 操作部に対する操作受付はいずれも許容されている状態にあり、当該状態において前記第 2 操作部に対する操作受付がなされると、それまで現れていた前記第 1 操作部に対する操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つとしての受付後表示が継続して表示されており且つ前記第 1 操作部に対する操作受付も継続して許容されているなかで、前記第 2 操作部に対する操作受付に応じた前記受付後変化の 1 つとしての受付後表示が表示されるようになっており、

さらに、

前記第 1 の複数操作許容状態は、当該第 1 の複数操作許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動の変動パターンの種別に応じて、特定 B G M が非可聴の状態にされているなかで発生する場合と、該特定 B G M が可聴出力されているなかで発生する場合との両方がある

20

ことを特徴とする遊技機。

30

40

50